

# 12月生まれ HAPPY BIRTHDAY



ひまわり  
荒井 向日葵 ちゃん  
12月23日生 5・伊原

5歳のお誕生日おめでとう♡プリンセス、歌を歌うのが大好きな向日葵ちゃん！元気にたくさん遊んで大きくなってね♡



未就学児のお子さんの  
写真を募集します



- ①お子さんの写真
- ②お子さんの氏名
- ③名前の読み方
- ④誕生日 ⑤年齢
- ⑥行政区 ⑦メッセージ (50文字以内)
- ⑧保護者の連絡先を送信してください。

1月生まれの締め切りは、  
12月12日(金)です。

送信先

koho@town.soeda.fukuoka.jp

☎ 役場総務課広報・秘書係 (☎82-4000)



## 地域子育て支援センター 12月の予定

- ★サークル「めだかっこ」(毎週火曜日)
    - ▷9日/カレンダー製作(給食)
    - ▷16日/虹の会読み聞かせ(給食)
    - ▷23日/クリスマス誕生日会(給食)
  - ★サークル「おんぶに抱っこ」(毎週金曜日)
    - ▷5日/手作りおもちゃ遊び
    - ▷12日/クリスマスツリー製作
    - ▷19日/親子健康教室・おっぱい相談・虹の会
    - ▷26日/おもちゃ遊び
  - ★ベビーサークル「あっぷっぷ」
    - ▷10日
    - ▷24日/虹の会読み聞かせ
  - ★マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」
    - ▷11日 (in支援センター)
- ★年内の子育て支援センターは12月26日(金)までです。年明けは1月6日(火)からです。  
※詳しくは「おんぶにだっこ通信」をご確認ください。  
☎ 添田町地域子育て支援センター (☎85-0888)

# まちのホットNews

## 親も子も笑顔あふれる楽しいひととき おんぶに抱っこマルシェ2025

11月12日、町立児童館で、町地域子育て支援センター主催の「おんぶに抱っこマルシェ2025」が開催されました。38組74人の親子が参加した今年のマルシェは子育て支援センターに寄せられた、子どもが大きくなり着なくなった衣類やベビー雑貨を自由に持ち帰れる衣類交換「ど〜ぞ!」や、読書ボランティア団体虹の会による親子で楽しめる絵本の読み聞かせ、木のパーツでつくるはがため製作や子どもの足形でオリジナルの巾着袋を作るワークショップなどが開催されました。また、横に託児スペースを設けたお母さんに優しい癒しコーナーでは、子どもを預けてマッサージなどを受け、つかの間のリラックスを楽しんでいました。子どもも遊べるゲームコーナーやお弁当などの販売もあり、参加した親子は笑顔で楽しんでいました。



## 歴まちコラム

## ～歴史と文化のふる里探訪～

☎ 役場商工観光振興課歴史文化財係 (☎82-1236)

# 受け継がれる 上宮社殿への想い

令和4(2022)年9月から英彦山神宮が取り組んでいる上宮社殿の保存整備工事が11月に終わりを迎えました。今回の歴まちコラムは、3年2か月にわたる工事によって見えしてきた、上宮社殿に対する人々の想いについて紹介します。

## 鎌

倉時代の『彦山流記』という歴史書には、久安元(1145)年に経典が上宮に奉納された記述があり、この頃から祠や社殿など、何かしらの構造物が存在していたことが考えられます。また、英彦山に残る資料からは、戦国大名による焼き打ちや落雷による焼失、自然災害による倒壊などで、何度も再建や修復がなされ、現在の社殿が約180年前の江戸時代に佐賀藩主の鍋島齊正により再建されたものと分かります。今回の保存整備工事は、令和2(2020)年9月の台風10号で柱や基礎部分などがずれ、倒壊の恐れが生じたことが主な原因です。そのため、英彦山神宮は参拝者や登山者の安全を

## 保

確保するとともに、歴史的貴重な社殿を後世へ継承するため、工事に着手しました。保存整備工事では、新たな発見もありました。一般的に江戸時代において焼失した建物を再建する場合、礎石はそのまま再利用されることが多かったようですが、上宮社殿の礎石周辺を調査したところ、焼けた跡や焼土などは確認できなかったのです。つまり、新しい礎石が据えられ、焼土も丁寧に除去された上で社殿の再建に取り組みされたことが分かります。標高1188mの山頂という厳しい立地条件を考えると、新たな部材を運ぶことは、大変な労力だったことでしょう。また、再建工事の記録によると、石

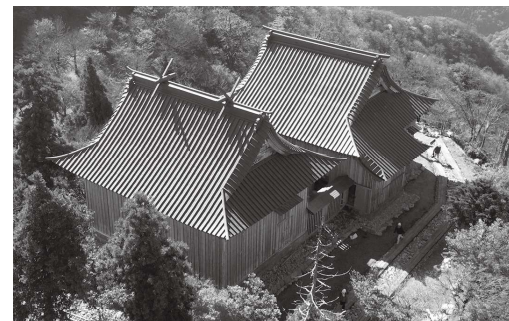
## 江

戸時代の再建工事からは、人々の社殿を大切に想う様子が伝わってきます。この想いは、現在までしっかりと受け継がれ、今回の保存整備工事につながり、そして今後も大切に受け継がれていくことでしょう。なお、新しくなった上宮社殿への参拝などについて詳しくは、英彦山神宮のホームページをご覧ください。



↑英彦山神宮のホームページはコチラ

【文/西山紘二 芸員(商工観光振興課歴史文化財係)】



↑工事が終了した英彦山神宮上宮社殿

【参考文献】『佐賀県近世史料』第十編 第六巻 (編集発行 佐賀県立図書館 平成30年)

# 文芸歳時記

## 【短歌 投稿】

出来ぬこと増えるばかりの日々なれど

亀に紐つけ陽をあび歩けり 櫻木マサ子

知らぬ間に曇りそめにし山里の

雨静かなり吾は咳きつつ 独活山強実

吹く風に冷たさ感じ身を縮め

じわりじわりと冬の足音 佐藤 直

移民暴動政変の欧米

明日わこの国政権さわぎで何とする 柳瀬 一徳

年ごとに大地の叫び迫り来る

悩ましきかな春夏秋冬 西村 宗雪

掃除する吾れに近寄りポケットの

アメを手渡し嬉去りゆく 久保田克利

## 【俳句 投稿】

一面に光輝くもみじかな

寺本 芳寛

相和して英彦霊峰の照紅葉

伊勢村 稔

立冬やくるい咲きたる大でまり

柳瀬 満子

## 【川柳 投稿】

参詣に(水かけ祭り)で身を清め

原田 祥二郎

姉妹町北海道の「美深町」

原田 順子

●1月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します  
12月12日(金)までに役場総務課に連絡してください。  
※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

☎ 役場総務課広報・秘書係 (☎82-4000)